一般社団法人チャイルドフッド・ラボ
藤原里美

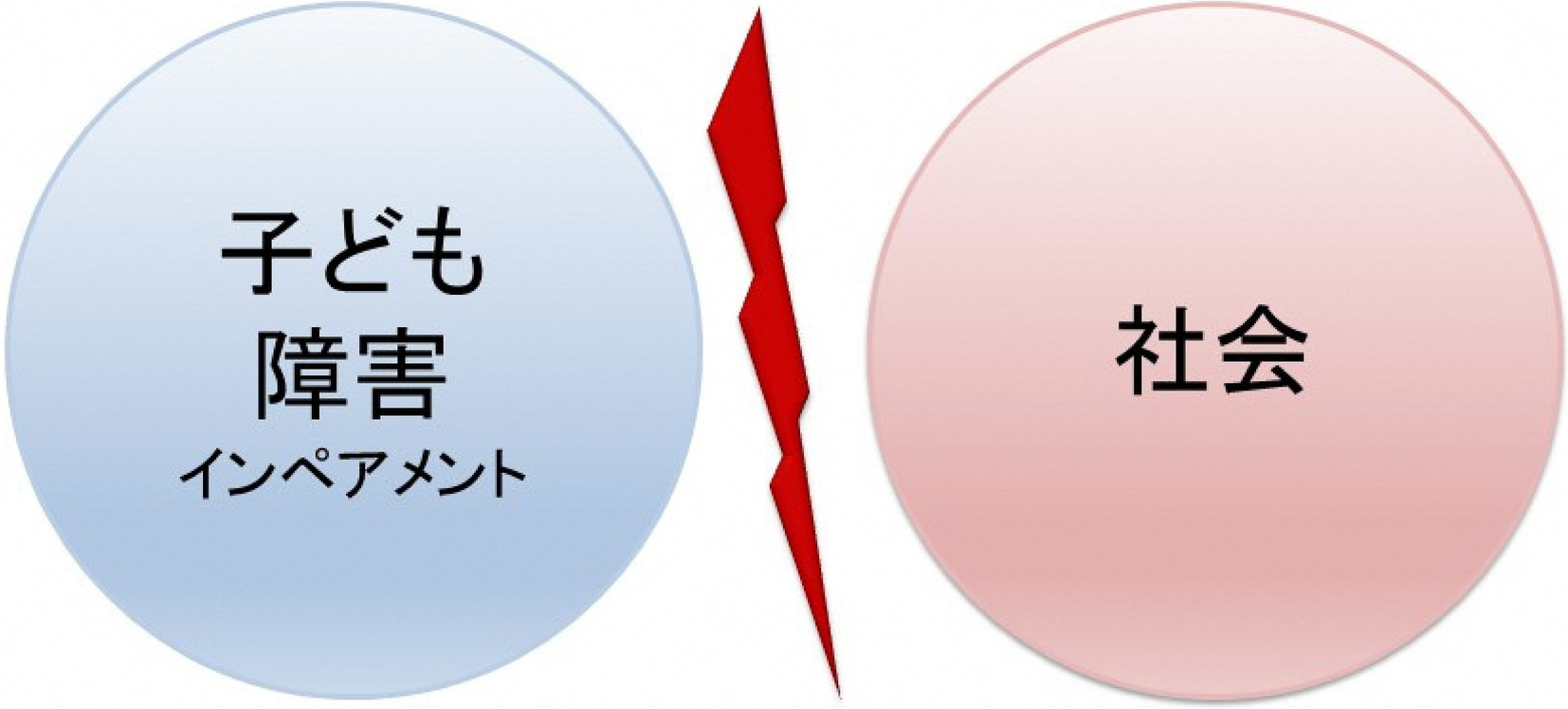
多様な子どもたちの発達支援

－多様な保育と家族支援－

多様性の尊重と全承認

子どもは1ミリも変えない

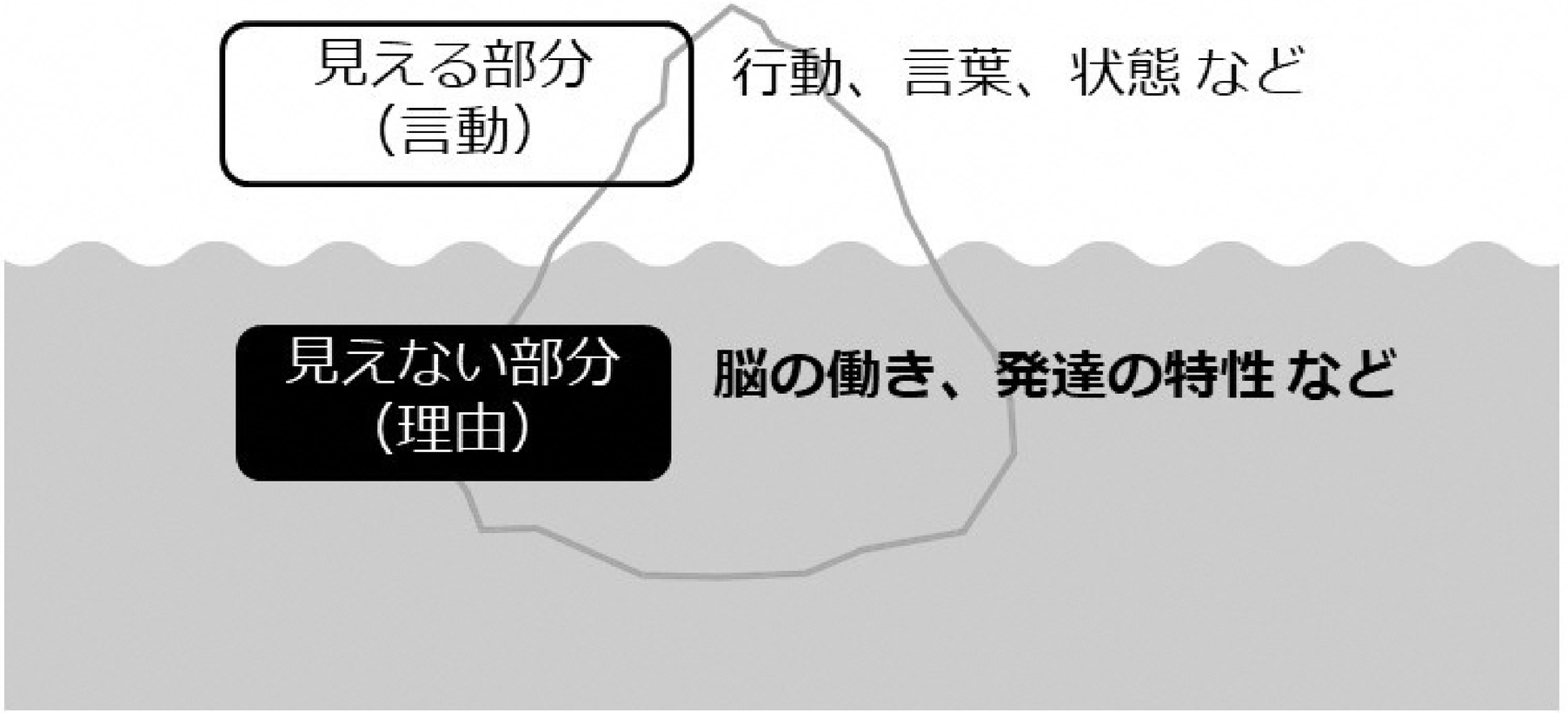
医学モデルと社会モデル



障害　ディサビリティー

氷山モデルで考えよう

子どもの行動の氷山モデル



活発すぎる・不注意すぎる
ADHD（注意欠如多動性障害）

A君（５歳児）

とても活発でよく動き回る。
怒って乱暴になったり、衝動的に動いてけがをすることも。
ADHDの発達特性がある。

Bちゃん（４歳児）

おおらかで、いつも笑顔。
ぼーっとしがちで落し物が多く、不注意でよくぶつかる。ADHDの発達特性がある。

- 衝動性
- 多動
- 不注意

A君
衝動性・多動　優勢型

Bちゃん
不注意　優勢型

多動と不注意

- 感覚・覚醒レベルの視点から

氷山の下

覚醒レベル：脳も目覚めさせ方の調整が苦手
固有覚・前庭覚：体の内側に入る感覚の偏り

体の内側に感じる感覚：固有覚

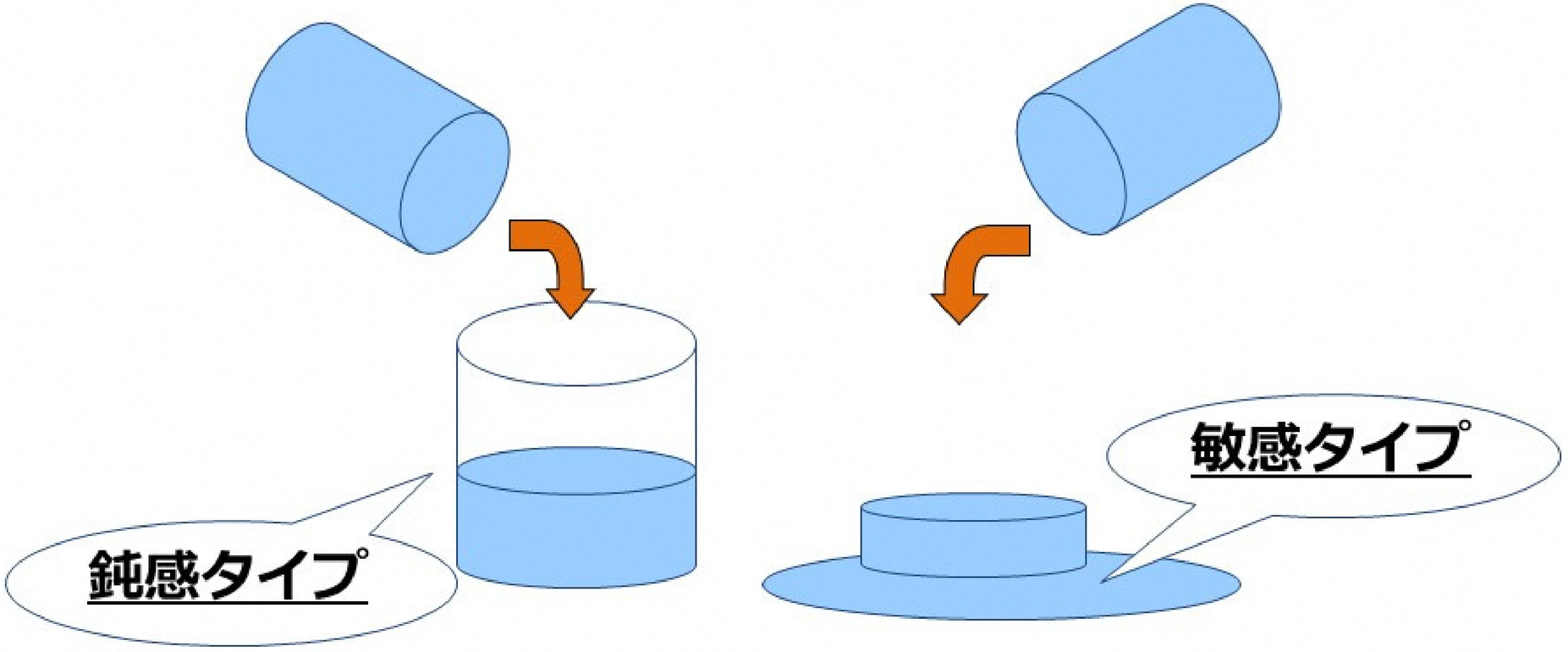
- 関節の曲げ伸ばし、筋肉の動きを脳に伝える感覚
- 体の位置　運動の方向　速度の変化
  物を持つ力加減を調整、姿勢を保つ筋力を感じとる

体の内側に感じる感覚：前庭覚

- 身体をまっすぐに保ってくれる感覚　三半規管
- 身体の動きによって生じる変化を感じる
- 身体のﾊﾞﾗﾝｽをとるのに必要な情報を脳に送る
- 見る（注視）機能を円滑に（手ぶれ補正）する

感覚の調整って何？？

- 感覚の感じ方は人それぞれ
- 許容量が違う！！



感覚調整が難しいと
感覚欲求に注目

鈍感タイプ：多動　　A君

刺激が入りにくい。より強い刺激がたくさん必要！！

→ **感覚を求める行動・感覚探求型**

敏感タイプ：不注意　Bちゃん

少しの刺激をとても強く感じる

→ **感覚を避ける行動・感覚防衛反応**

IDEA 35

重さで落ち着く ペットボトルリュック

立ち歩きたくなる子は、水の入ったペットボトルを入れたリュックを背負ってみましょう。体に重さを感じることで安心感がもて、安定して座っていられる子もいます。

ちょうどよいと感じる重さには個人差があるので、ペットボトルの水量を調節して。

IDEA 36

ゴロゴロ刺激でクールダウン スーパーボール座布団

じっとしているのが難しい子には、大きめの巾着にスーパーボールを入れた座布団を敷いてみましょう。ボールの刺激で安心でき、落ち着いて座れる場合も。スーパーボールの量は子どもに合わせて調節しましょう。

誤飲を防ぐため、スーパーボールの量を調節後、巾着の口を閉じて縫い付けます。

ゴムの感触で安心する

幅広ゴムの足置き

いすの脚にかけた幅広のゴムを踏んで、「足もち無沙汰」にならないようにします。立ち上がる際などに足を引っかけないよう、ゴムはいすの脚の床に近い位置にかけましょう。

思考の柔軟性
急な変更でパニック

- 年長の男の子
- 体育
  ・・・楽しみにしていた最後の
  ゲームがなくなる

- 思考の柔軟性がうまく働かない・・脳のタイプ
- 一番こだわり・ネガティブな気持ちを引きずる
- 失敗に弱い
- 自閉症スペクトラムの子どもの大きな特徴

共感⇒問題提起⇒提案

- 「怒ってしまう」「泣いてしまう」辛さに共感
- 何がこういう状況を作ったのか話し合う
- 問題を明らかにする
- その上でどうすればよいのか提案する

- まずは共感から、それだけでも子どもとの関係は変わる。関係性が大切
- 大好きなこの先生の話なら聞いてみよう。提案も受け入れてみようという心の動き。

あんしんＢＯＸ

- 怒っちゃうのはどんな時？
  - 初めての活動
  - 負けた時
  - 失敗した時
  - 急な変更がある時
  - 強い言葉で指示

遊びの発達

ひとり遊び

平行遊び（２～3歳）
　同じ空間で似た活動に取り組む
　順番に使う/我慢する/悪いことをしたら謝る

連合遊び（３～4歳）
　遊びの中で会話や玩具のやりとりがみられる
　同じに遊んでいるようでもお互いのイメージはあっていない
　自分のイメージを伝える/相手の考えを聞く

遊びの発達

共同遊び（４～５歳）
　遊びの中に分業や役割分担がみられ、それぞれが協力して一つの遊びを構成する
　ルールの理解と尊重/協調性/参加するみんなが楽しめるルール作り

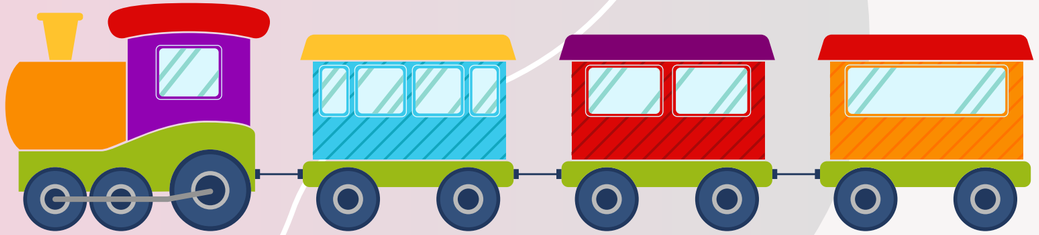
多様な保育

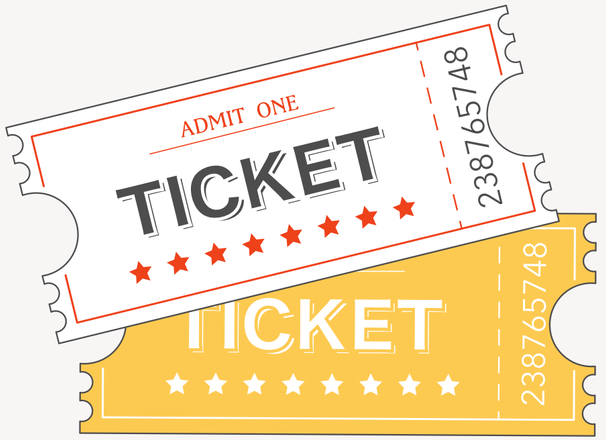
午睡は子どもが選ぶ
食事の時間も自分で決める

保育の枠に子どもをいれる→
子どもにあわせ枠を広げる

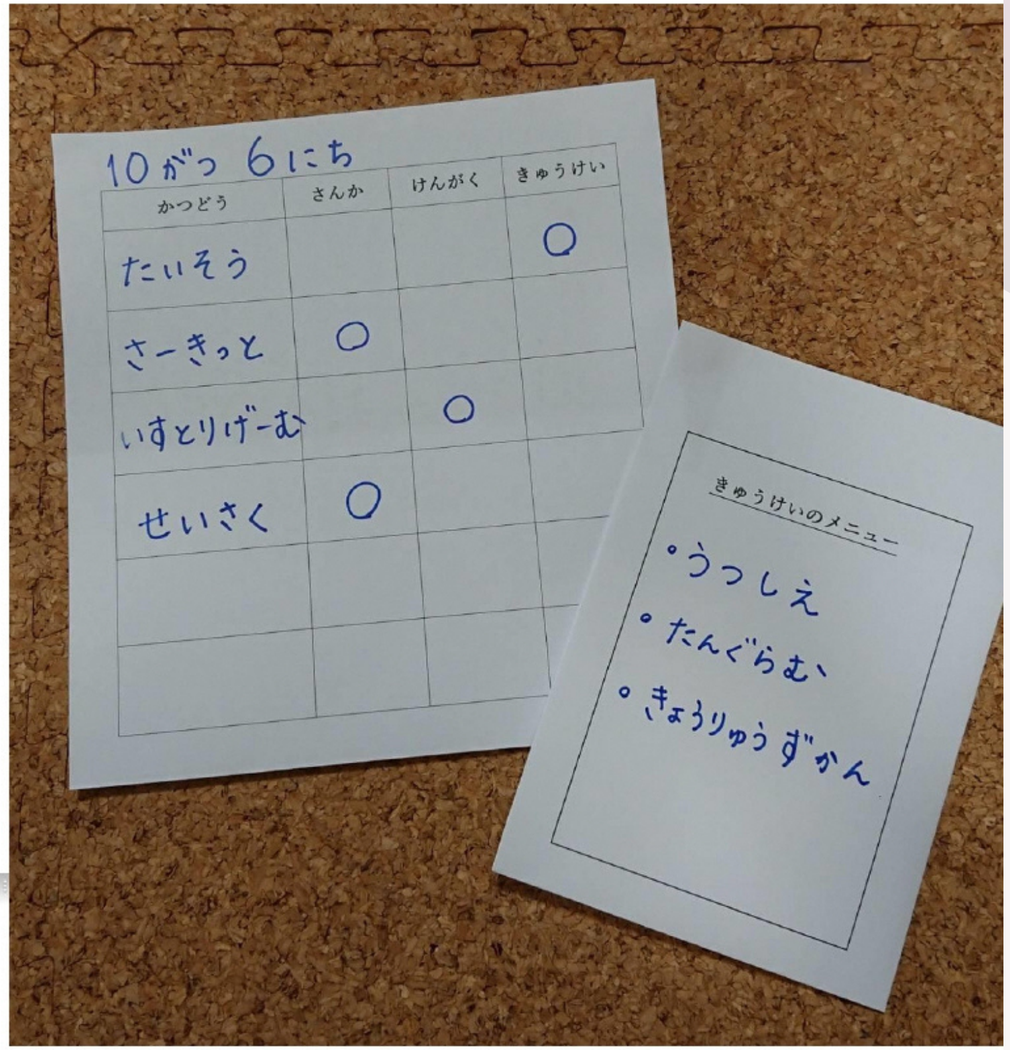
多様な保育

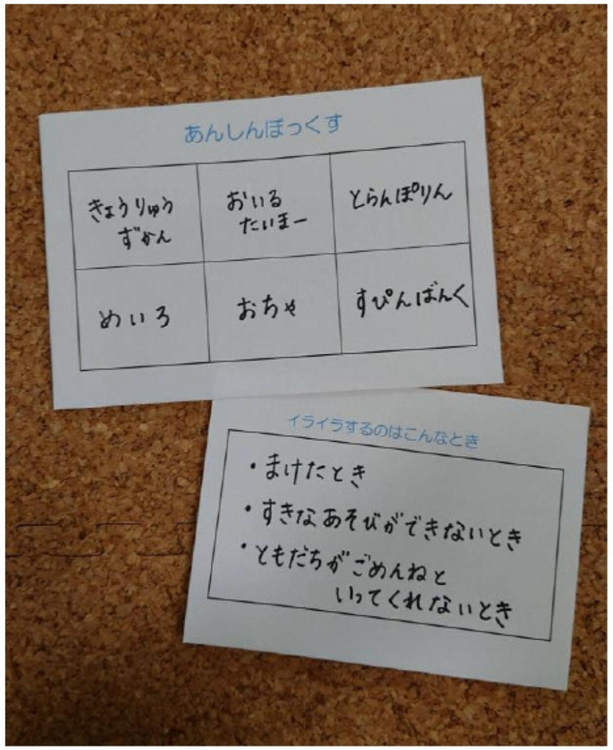
安心
遊び心
強みを生かす





あんしんぼっくす
・いらいらしたとき
・しっぱいしたとき
・つかれたとき
・なきたいとき
・おこりたいとき


10がつ 6にち
かつどう
さんか
けんがく
きゅうけい
たいそう
さーきっと
いすとりげーむ
せいさく
きゅうけいのメニュー
・うつしえ
・たんぐらむ
・きょうりゅうずかん


あんしんぼっくす
きょうりゅうずかん
おいるたいまー
とらんぽりん
めいろ
おちゃ
すぴんばんく
イライラするのはこんなとき
・まけたとき
・すきなあそびができないとき
・ともだちがごめんねといってくれないとき

保護者支援を考える

→は常に保護者
保護者を主語に考える

ネガティブ

ポジティブ

癒し-気持ちの安定

発達支援を共に

エピソードをまとめる

サンドイッチ方式を作る

できること

できないこと

○○したら○○できること

まとめ

- 子どもの行動には必ず理由がある
- できていることに目を向ける
- 多様な保育は工夫しだい
- 安心･遊ぶ心･強みを生かすがキーワード
- 承認の5段階を大切に